

平成24年度一般会計当初予算説明資料

8款 土木費

3項 河川海岸費

1目 河川総務費

河川課(内線:7386)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)平成23年度発生災害を踏まえた治水対策強化事業〔単県公共事業〕	32,339	0	32,339				32,339	
トータルコスト	33,948千円(前年度 0千円) [正職員:0.2人]							
主な業務の内容	委託発注、進行管理、監督業務、業者対応、関係機関との検討・調整							
工程表の政策目標(指標)	—							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

平成23年9月に発生した台風12号による河川管理施設の甚大な被害発生等を踏まえ、水防体制や河川管理体制の再点検及び強化を図るものである。

(1) 水防体制の再点検・強化

○重要水防区域の追加指定

・ 台風12号等の記録的な豪雨により、水防上、重点的に監視すべき区域である「重要水防区域」以外の区域で被害が多数発生したため、今年度の度重なる出水により、河床洗掘や堤防浸食等、既存施設が脆弱化している箇所の見直し(佐陀川)を実施し、重要水防区域の追加指定を行う。

○浸水想定区域図の見直し(佐陀川)

・ 佐陀川において、既存の浸水想定では想定していなかった箇所で、台風12号による堤防の洗掘が発生し、更に水位上昇が進んでいけば、重大な浸水被害が発生した可能性があることから、浸水想定区域図の見直しを行い、水防管理団体である米子市や地元住民へ周知し、今後の水防活動や避難活動に反映させる。

(2) 河川管理体制の強化

○河川維持管理計画の策定

・ 近年のゲリラ豪雨の多発等、気象条件の激化により、河川の維持管理の重要性が増大する中、限られた人員、経費で適正な管理を行うためには、河川維持管理計画を策定し、河川や区間の重要度に応じた維持管理目標を設定して効率的・効果的な管理を行う必要がある。

2 主な事業内容

名称等	内容
①重要水防区域の総点検 C=23,620千円	水防警報河川(水防上の重点監視河川)を対象とし、河床洗掘や堤防浸食等、既存施設が脆弱化している箇所の総点検を実施する。
②浸水想定区域図の見直し(佐陀川) C=5,500千円	被災原因(河岸浸食)を考慮した浸水想定区域図の見直しを行う。
③河川維持管理計画の策定 C=3,219千円	モデル河川(東部:大路川、中部:三徳川、西部:佐陀川の計3河川)において、河川や区間の重要度等に応じた巡視や点検の頻度等、維持管理目標を設定する。

3 これまでの取組状況、改善点

(1) 水防体制

- ・ 重要水防区域については、河川改修事業の実施や点検結果等を踏まえ、適宜見直しを行ってきたが、度重なる出水に伴う既存施設の脆弱化や河床低下等、河川状況の変化が激しいことから、総点検を実施し見直しを行う。
- ・ 浸水想定区域図は、水位情報周知河川等において、水防法に基づき県が作成するものであり、市町村が作成する洪水ハザードマップの基礎となるものである。県管理19河川で作成し公表しているが、必要に応じた見直しを図る。

(2) 河川管理体制

- ・ 平成23年5月に策定された河川砂防技術基準(維持管理編)には、河川維持管理計画に基づく管理の必要性が明記されているため、同計画に基づく効率的・効果的な管理を実施する。